全和7年度 水田活用の直接支払交付金 産地交付金の申請・実績報告について

R7.4.1案 保存版 1年間保存してください 庄内町農業再生協議会事務局 (庄内町農林課) TEL 0234-42-0168

今後国との協議において、内容や単価に変更がある場合がありますので、ご了承ください。

申請書、実績報告の提出については改めて通知はいたしませんので、この概要版や申請書をよく確認し、期限までの申請・報告をお願いします。

大 豆 助 成

大豆団地 生産性向上助成

(2.4ha未満9,000円/10a)

申請締切 **6月13日(金)** 令和7年

一つ以上の共同作業をすること)

2.4ha以上の団地化への取組については、1,000円の加算を行う

(2)必須要件
①地力向上対策として次のいずれかの土壌改良材または有機資材の投入すること。
・酸度矯正資材(苦土石灰等)・有機資材(堆肥、黒ひかり等)
・発酵鶏銭(100kg/10a以上の散布で「ほ場地力向上助成」にも該当。)
※土壌診断の結果季を参考に、ほ場の状況に応じて多収につながる必要量を散布してください。
②共済・収入保険に必ず加入すること。
(3)(2)の必須要件の他に、次のいずれか一つ以上の取組を行うこと。
① サブソイラー等による心土破砕や明暗渠の実施排水対策 ② 土壌診断結果に基づいた堆肥の施用
③ 種子消毒と防除作業の徹底した実施による疫病・害虫対策 ④5月下旬を目途とした適期播種の徹底

交付対象除外

・ 今和5年、令和6年と2年連続で畑作物の直接支払交付金における町の基準単収(141kg/10a)の1/2 下回った農業者は、交付対象外とする。(ただし、令和6年の大雨が原因で基準単収の1/2を下回っ

た場古は外家とする。// 上記理由で交付対象外となった場合でも、つながり要件として認め、団地面積に含めることが可能なため、必要な場合は申請書に記載すること。交付対象とならない農業者のほ場についても、団地の面積に含める場合は、上記の必須要件を満たすことが条件。刈り残しがあるほ場は交付対象から除外する。

申 請 申請書と団地図面(必須)、土壌改良剤又は有機資材の納品書・送り状

大豆団地 輪作加算 上限単価:10,000円/10a

申請締切 6月13日 (金)

ふぶ山心がからパカインのこと。 作作に水稲(飼料用米、WCS稲含む)が作付されていた水田であること。 筆単位の取組とし、一筆を分筆しての輪作は対象外とする。(「大豆転換助成」との重複不可)

大豆団地助成の申請書に記載欄があります。

単収200 kg目標 大豆土壌排水対策助成

上限単価: 2,000円/10a

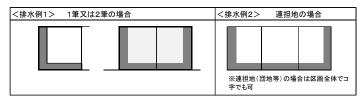
申請締切 **6月13日(金)**

筆5a未満のほ場については、助成の対象外とする。

(2) 目休的要件

・ 令和7年度に設置作業を行う。令和6年以前に設置し、そのまま活用する場合は、交付対象外とする。 サブソイラー等による心土酸砕、又はバックホウや溝掘機等によりほ場の外周に気をである。 明果を設置する。暗渠排水は、サブソイラーやブラソイラーによりおおむねほ場全体に暗果を設置する。 (3)実績報告 **給切:8月末日** 作業後の写真等の取組をしたことがわかる書類。ほ場全体に実施したことがわかる写真を撮って提出し

※作業後速やかに記録の写真を撮って現像してください。



申 請書を提出してください。

大豆転換助成

限単価: 5,000円/10a

申請締切 **6月13日(金)** 今和7年

申 請 申請書の提出は不要です。(再生協で自動算定)

そば団地 生産性向上助成

申請締切 6月13日(金)

上限単価: 8,000円/10a

①水田 2 ha以上(ただし、中山間地域(瀬場~清川)は80a以上) ②複数の農業者で形成する場合も可とする(町外の農業者を含む場合は、一つ以上の共同作業をすること) (2)必須要件

・ 6和6年と2年連続で畑作物の直接支払交付金における町の基準単収(25kg/10a)の1/2を 養者は、交付対象外とする。(ただし、令和6年の大雨が原因で基準単収の1/2を下回った場 下回った農業者は、交付対象外とする。(ただし、令和6年の大 合は対象とする。)以下、「大豆団地生産性向上助成」と同様

申 請 申請書と団地図面(必須)、土壌改良剤または有機資材の納品書・送り状

そば土壤改良助成

上限単価:2,000円/10a

申請締切 6月13日 (金)

(1)具体的要件 次のいずれか一つ以上を取り組むこと。 ① 貝殻資材有機石灰を10a当たり40kg以上投入する ②苦土石灰を60kg/10a以上投入する。 (農協等で代表的な地点での土壌診断を行い、その結果に基づく施肥の指導を行うこと。) (2)実績報告 締切:9月末日

土壌改良剤の購入伝票、作業日誌等の資材を散布したことがわかる書類

申 請 申請書を提出してください。

そば土壌改良助成・化成肥料施肥加算

上限単価: 1.000円/10a

申請締切 6月13日(金)

・ そば土壌改良助成 | の交付対象であること。化成肥料(オール14)を10kg/10a以上散布すること。 (2)実績報告 **締切:9月末日** 化成肥料の購入伝票、作業日誌等の資材を散布したことがわかる書類

申 請 土壌改良助成の申請書に記入欄があります。

そば振興助成

上限単価:20,000円/10a

生産性向上に資するため、対象ほ場について次のいずれかに取り組むこと。 ①排水対策の実施 ②地力向上対策 ③申請者が担い手であること ④団地化 ⑤8月上旬までの適期播種

そば排水対策助成 上限単価:6,000円/10a

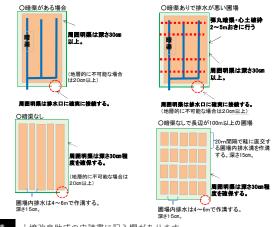
申請締切 6月13日(金)

(1)具体的要件

/条件的なFT 令和7年度に設置作業を行う。令和6年以前に設置し、そのまま活用する場合は、交付対象外とする。 ①暗渠が設置されているほ場 全周にバックホウや溝掘機等により深さ30m以上の明渠を設置する。

また、排水が悪いほ場については、弾丸暗渠、心土破砕を2~5 mおきに行う。 ②暗渠が設置されていないほ場 全周にバックホウや溝掘機等により深さ30cm以上の明渠を設置し、4~6m間隔でくし形に深さ15cm程度 正向にソファット、将師成時でありた。30世紀 の明葉を設置する。長辺が10m以上のほ場については、20m間隔で畦に直交する深さ15m程度のほ場内 排水溝を作溝する。暗渠排水(補助排水、弾丸排水)は、サブソイラーやブラソイラーによりおおむね ほ場全体に暗渠を設置する。 ※30cm掘ることができない地層の場合は、20cmで可とする。 ほ場全体に暗渠を設置する。

は場全体に暗集を設置する。 ※30cm据ることができない地層の場合は、20cmで可とする。
(2)実績報告 **締切:9月末日**作業後の写真等の取組をしたことがわかる書類
※作業後の写真で、令和7年度に実施した事業と認められない場合(明集内に維草が繁茂している、 溝が崩れて深さが確認できない等)は対象外としますので、作業後速やかに記録の写真を撮って ください。写真がない場合は、交付対象外となる場合がありますので、ご注意ください。



申 請 土壌改良助成の申請書に記入欄があります。

注 意

作物変更、収穫出荷の断念等があった場合は、速やかに再生協議会事務局(役場 農林課)に来庁のうえ、営農計画書の訂正をお願いいたします。 連絡がなく、誤って交付金が交付された場合は、虚偽の申請と捉えられかねませ <mark>んので、事務局からの連絡を待たず直ちにご報告ください。</mark>

自然災害、鳥獣被害が発生した場合は、各自写真記録をお願いします。 そばの収穫量が基準単収の1/2を下回った場合、理由書に被害 必要となります。(冠水した場合は、水が引き切らない状況での写真をお願いします。) 経営所得安定対策等交付金の交付申請に関する誓約事項 より抜粋

- ◆出荷・販売契約書や出荷・販売伝票等の証拠書類を交付申請を行った年度の翌年度から 5年間保管し、地方農政局等からの求めがあった場合には、提出します。 ◆以下の場合には、交付金を返還すること、又は交付されないことに異存ありません。 (1)交付申請書、営農計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合 (2)正当な理由なく、営農計画書に記載した交付対象作物を作付けていないことが判明した場合 (3)営農計画書に記載した交付対象作物に少、変な出荷・販売契約等の締結や計画の認定を 受けていないこと、適切な作付け、肥培管理・収穫等が行われていないことや、正当な理由なく、 出荷・販売をしていないこと、その他交付要件を満たす取組が行われていないことが判明した場合

◆大豆・そば団地のつながり要件



①ほ場の辺の半分以上が重なって連担していること

○農道、町道、県道、用排水を挟んでいる場合、辺の半分以上が重なっていれば可。 ③震道、町道、県道、用排水を挟んでいる場合、辺の半分以上が重なっていれば可。 ③河川、国道、大排水、<u>鉄道、高架橋、高規格道路</u>を挟んで面的に重なっている場合、橋梁等による移動距離が100m以内であれば可。

の団地の中に、要件を満たさないほ場が発生した場合、当該ほ場は「つながり要件」としては認めるが 団地面積には含めず交付対象外となりますので、ご注意ください。



ほ場地力向上助成

上限単価: 3,000円/10a

申請締切 **6月13日(金)**

(1)対象作物 大豆、そば (2)具体的要件 農協等が代表的地点で土壌診断を行い、その結果に基づく指導を行うこと。 次のいずれか一つ以上を投入すること。※果ひかりは対象が一十 (少兵)呼的寒性 農勝等が代表的地点で土壌診断を行い、その結果に基づく指導を行うこと。 次のいずれか一つ以上を投入すること。※黒ひかりは対象外です。 ①中ふん堆肥を10a当たり1トン以上 ②豚ぶん堆肥を10a当たり500kg以上 ③発酵鶏糞を10a当たり100kg以上 ④混合堆肥(あぐりん堆肥を含む)を10a当たり1トン以上 (3)面積要件 一筆5a未満のほ場については、助成の対象外とする。 (4)実績報告 締切:8月末日

有機資材の購入伝票、作業日誌等の資材を散布したことがわかる書類 申 請 申請書を提出してください。

地力增進作物助成

申請締切 **6月13日(金)** 令和7年

上限単価: 20,000円/10a

(1)対象作物 ソルガム、アカクローバー、クリムソンクローバー (2)具体的要件 基幹作として地力増進作物を作付けし令和8年度に高収益作物または戦略作物を作付けすること。 締切:8月末日 (3)実績報告

種子の購入伝票、作業日誌等の耕起・整地・播種・肥培管理を実施したことがわかる書類

申請書を提出してください。

需 給 調 整 米 助 成 (「多収品種資料用米複数年契約助成」は令和6年度で廃止)

加工用米複数年契約助成 (令和7年度で終了)

(1)対象作物 実需者との複数年契約(3年以上)に基づき生産する加工用米 令和5年産からの新規契約は単価を1,000円/10aとする (2)要 件 加工用米複数年契約に係る生産者リストに掲げられていること。

申 請 申請書の提出は不要です(再生協で自動算定)

醸造用米助成

上限単価: 7,500円/10a

(1)対象作物 生産数量の外数で取り組む醸造用米 新規需要米取組計画の認定を受けること。 (2)要 件

申請

申請書の提出は不要です。(再生協で自動算定)

新市場開拓用米取組拡大助成

上限単価: 20,000円/10a

(1)対象作物 新市場開拓用米 (輸出米)

件 新規需要米取組計画の認定を受けること。 (2)要

申 請 申請書の提出は不要です(再生協で自動算定)

新市場開拓用米複数年契約助成

上限単価: 10,000円/10a

(1)対象作物 新市場開拓用米 (輸出米)

新規需要米取組計画の認定を受けること。 3年以上の複数年契約であること。

申 請 申請書の提出は不要です。(再生協で自動算定)

重点振興作物助成

重点振舆作物助成

単価は下図参照

申請締切 5月9日 (金)

(1)対象作物 下記作物のうち、令和8年3月31日までに収穫出荷が確実なほ場のみ申請してください。 ※露地のバラ、トマト、小松菜、ほうれんそう、せいさいは交付対象外とします。 ※株養生期間は交付対象外とします。

上限単価	対象作物	
45,000円/10a	トルコギキョウ、ストック、菊、バラ、宿根カスミソウ、ひまわり、紅花、ダリア、 シクラメン、スターチス	
40,000円/10a	トマト、ネギ、赤かぶ、枝豆、シャインマスカット	
30,000円/10a	カラトリ、メロン、さといも、アスパラガス、小松菜、ほうれんそう、せいさい、 プロッコリー、ニラ、ベビーリーフ、しいたけ	
20,000円/10a	わらび、行者にんにく、月山筍	

申 請 申請書を提出してください。

重点振興作物輪作加算

上限単価: 5,000円/10a

申請締切 5月9日 (金)

JAT&FIFM ネギ、トマト、メロン、小松菜、ほうれんそう、せいさい、トルコギキョウ、ストック、菊、ダリア、 宿根カスミソウ、ひまわり、紅花、赤かぶ、枝豆、ブロッコリー、スターチス

生産性向上のために、輪作体系の導入を行うこと。 (3年連作の禁止)

生生性門上のだめに、欄門体系の導入を行うこと。 (3年連門の宗正) 輪作体系の確立のため、農協・普及課の意見に基づき輪作計画を策定する。 適正な輪作体系とは地域の実情に即した、持続的かつ安定的な農業を可能とする輪作体系とする。 前年の計画書に基づいた作付になっているか確認すること。 ※前年の計画書と整合性が取れない場合は交付対象外となる場合があります。

重点振興作物助成の申請書に記載欄があります。 申 請 農協から確認を受けた輪作計画書を添付してください。

園芸施設作物加算 単価は下図参照

申請締切 **5月9日(金)** 令和7年

(1)対象作物 園芸施設内で作付される下記の作物

上限単価	加温※	対象作物
10,000円/10a	加温なし	トルコギキョウ、ストック、菊、パラ、宿根カスミソウ、ひまわり、 紅花、ダリア、スターチス、シクラメン、ネギ、シャインマスカッ ト、メロン、トマト、小松菜、ほうれんそう、せいさい、しいたけ、 ブロッコリー、ベビーリーフ
100,000円/10a	加温あり※	トルコギキョウ、ストック、菊、宿根カスミソウ、ひまわり、紅花、 ダリア、スターチス、ネギ、シャインマスカット、メロン、トマト、 小松菜、ほうれんそう、せいさい、しいたけ、ブロッコリー、ベ ビーリーフ
200,000円/10a	加温あり※	パラ、シクラメン

※加温あり=2カ月以上ボイラーによる加温で作物を生産する場合

加温ありの場合はボイラー写真、燃料の伝票、加温した期間がわかる作業日誌を添付してください。

申 請 申請書を提出してください。

重点振興作物規模加算

農業所得の向上を目的とし、重点振興作物のうち、より高収益が見込まれるネギ、赤かぶ、枝豆、トルコ ギキョウ、ストック、菊、バラ、宿根カスミソウ、ひまわり、紅花、ダリア、シクラメン、スターチスの作付の合計面積が60a以上の農業者に対し支援する。

申 請 申請書の提出は不要です。(再生協で自動算定)

県 産 地 交 付 金(単価は変動する場合があります。)

飼料用米助成

上限単価: 5.000円/10a

申請締切 **5月9日(金)**

い 低コスト化への取組を3つ以上実施すること。(令和6年度と同じメニューを選択できます。)

申請

取組確認書を提出 → 実績報告様式を送付します -括管理の場合、実績報告はコメ新市場開拓等促進事業の取組の実績報告書で代用

可能です。 (区分管理の多収品種の場合は、代用できません。)

加工用米助成

上限単価: 5.000円/10a

ケイ酸質肥料等の散布 コメ新市場開拓等促進事業に申請した協議会の農業者であること ただし、コメ新市場開拓等促進事業との重複受給不可 (2)対象者

新市場開拓用米助成 上限単価:8,000円/10a

ケイ酸質肥料等の散布 コメ新市場開拓等促進事業に申請した協議会の農業者で,不採択となったもの (交付対象面積は、国で不採択となった面積を上限とする)

米粉用米取組拡大助成 上限単価: 10,000円/10a

(1)要件 ケイ酸質肥料等の散布

コメ新市場開拓等促進事業との重複需給不可 (2) 条件

注 意 作物変更、収穫出荷の断念等があった場合は、速やかに再生協議会事務局(役場農林課)に来庁のうえ、営農計画書の訂正をお願いいたします。 自然災害、鳥獣被害が発生した場合は、各自写真記録をお願いします。



大豆、そばの収穫量が基準単収の1/2を下回った場合、理由書に被害写真の提出が必要となります。 【庄内町農業再生協議会 瓬 42-0168】